



株式会社 協和商会
KYOWA SYOKAI Co., Ltd

株式会社協和商会

企業紹介

創業より、鉄鋼を作る副資材の運搬、鉄鋼業から排出される金属片の収集、鉄鋼業関連の運送を主に行ってきました。加えて、現在は、工場の中の機械メンテナンス、加工も手掛けています。本社 川崎の他、埼玉や群馬に車両基地や営業所を設け、事業を行っています。

COMPANY PROFILE

<http://kyowa-syokai.co.jp>

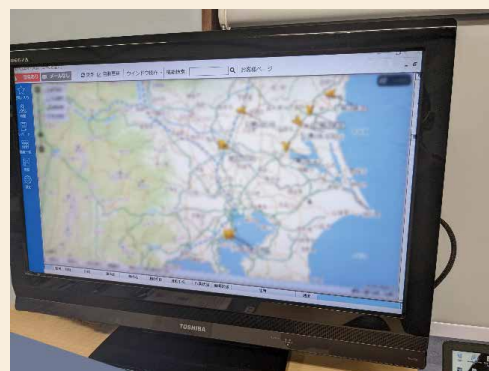
- 業種 運送業・金属類卸・機械メンテナンス
- 代表者 代表取締役 小川信彦
- 所在地 川崎市川崎区浅野町 6-16
- 従業員数 44名



生産性向上に向けた取組

新規システムとデジタルタコメーターの導入

車両に積載している従来のデジタルタコメーターについて、新規システムの導入により、本社システムで車両位置情報を把握、積載管理、伝票、請求まで一括管理ができるようになり、労力の削減につながっています。また、システム化を進めることで、ドライバーが日報を書かなくてよくなり、ドライバーの負担も減らすことができました。



車両動態システム・管理画面

クラウド会計の導入と給与管理業務の外注

従来は、伝票チェックのための人員が2~3人いて非効率だったことから、クラウド会計を導入しました。また、総務系業務の給与管理などは社労士・税理士事務所へ外注するなど、システム導入前は7名体制だった経理・総務部門の社員を4名まで減らすことができました。また、既存事業部門の見直しを通じて、新規事業開発への余力を創ることができ、社内でも新しいことに対する推進力が生まれました。

働きやすい職場づくりに向けた取組

デジタルツールを活用した現場とのコミュニケーション向上

常駐現場とのやり取りに、スプレッドシートやLINEを導入しました。管理者だけのLINEグループを活用し、ドライバーはLINEで現場の注意事項などを積極的に共有するようになりました。それにより、社内におけるコミュニケーションが改善されました。

生産性向上は私たち中小企業が抱える大きな課題の一つだと思います。しかしながら実際はまず何から始めたらよいのか？ 費用はどのくらいかかるか？ など多くの疑問を抱えたまま何もできていない会社が多いように見受けられます。一番重要な部分は従業員や経営者がどんなことができたなら現在の仕事が楽になるかを話し合い、その中でアイデアや情報を拾い集め実行する。アイデアを出した人などを責任者に任命し進めることで社内が活性化し、DXの推進につながります。

代表取締役 小川 信彦

